

LUCKY

2010.2

第40期 報告書

平成21年3月1日から平成22年2月28日



LUCKY

北雄ラッキー株式会社

JASDAQ:2747

株主の皆さまへ

ごあいさつ

北雄ラッキー株式会社
代表取締役社長 川端 敏



01 株主の皆様には、平素より当社の経営につきまして特段のご理解とご厚情を賜り、厚く御礼を申し上げます。当社は創業以来、一貫して地域のお客様に愛されるお店づくりを目指し、皆さまの食卓をより美味しく、より豊かに、より健康にという理念のもと今日まで歩んでまいりました。

昨年を振り返りますと、100年に一度の経済危機ともいわれた景気悪化の影響が、当社のおかれている小売業においても6月以降顕在化するなど、小売業も含めて政治、経済、そして生活消費動向においても大転換期を迎えた1年となりました。

こうしたなか、当社はこのような環境の変化に対応するべく過去の成功や常識を捨て去り、自ら変化を志向していく体質になるよう努めてまいります。この予想以上のスピードで、淘汰が進んでいくスーパーマーケット業

界の中で生き残るために当社は、「ラッキーは変わった」とお客様に言われるくらいの進化を遂げる所存でございます。そして、それにも増して当社がこれまで培ってまいりました、品質の高さによる「健康と安全」「味と美味しさ」に対するお客様の期待にお応えするべく、地域から信頼されるお店づくりに全力を注いでまいります。

また、環境問題におきましても、当社は「今も未来も地域のお客様と共にあり続けたい」という願いのもとに、地域のスーパーマーケットとして地球や人にやさしい環境づくりに貢献する企業を目指してまいります。

社会構造の大きな変化にも対応し、お客様の多様なニーズにもお応えできる企業を目指し、役職者一同が最大限の努力をしまっている所存でございます。

株主の皆様におかれましては、今後とも変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

店舗網

(平成22年2月末現在)

営業店舗合計 32店

食料品・衣料品共同店 21店

食料品単独店 4店

衣料品単独店 7店

栗山店

長沼店

手宮店・朝里店

岩内店

長都店

千歳錦町店

シティわかかない店

シティもんべつ店

シティえんがる店

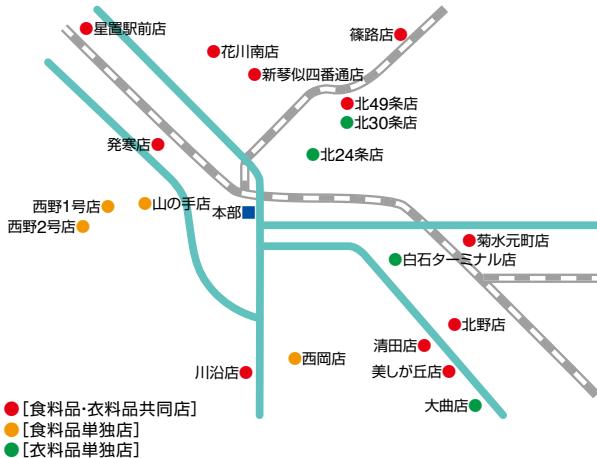
シティびほろ店

シティあばしり店

札幌市内

札幌市

札幌市近郊店舗分布



■本部 〒060-0011 札幌市中央区北11条西19丁目36-35 ☎011-643-3301

■デリカセンター 北海道小樽市銭函3丁目193-1 ☎0134-62-1717

■シティデリカセンター 北海道網走郡美幌町字青山北53-3 ☎0152-75-2060

■生鮮センター 札幌市中央区北12条西19丁目36-168 ☎011-623-0570

■低温センター 札幌市中央区北12条西19丁目36-168 ☎011-643-4511

■物流センター 北海道石狩市新港西3丁目700 ☎0133-75-8877

昭和46年4月、食品の小売および卸売を目的として株式会社オレンジチェーンを設立。昭和49年5月、商号を株式会社山の手ストアと改めチェーン展開を開始し、更なる店舗規模の拡大と集客部門の充実強化を図るため、昭和57年5月に札幌市内を中心に衣料品のチェーン展開を行っていた株式会社まるせんと合併。商号も現在の北雄ラッキー株式会社に変更しました。

その後、一層のチェーン展開を図り、石狩市、小樽市、道東の美幌町・遠軽町、道央圏の千歳市・栗山町・長沼町と規模を拡大し、更に道東地区のドミナント化を図るため網走市、紋別市へ進出、平成17年10月には道北の稚内市、平成20年9月には岩内郡岩内町へと営業エリアを広げ、平成22年2月末現在32店舗を展開しております。今後も、企業理念である「北雄ラッキーは、日本一質の高いスーパーマーケットをめざします。」を掲げ、お客さまに感動を与えるサービスとともにニーズの変化を敏感に捉え、一歩先を行くスーパーマーケットの創造に努力を続けていきます。

食育への取り組み 様々な経験で「食」に関する知識と「食」を選択する力の習得を!

親子で田植え・稲刈り体験



春の苗植え

子供たちに、食べ物大切さを知ってもらうために一番身近な食べ物である「お米」の、田植え・稲刈り体験を企画しました。

子供たちには、普段から何気なく口にしている「お米」の苗植えから収穫までの体験を通して、「お米」を口にするまでの苦勞と喜びをたくさんの人たちと共有してもらいました。



秋の刈り取り

親子で食育料理教室

料理を通して親子のコミュニケーションを深めてもらい、そして栄養の大切さや料理の楽しさを知ってもらうために、お取引先様のご協力を得て、「親子食育料理教室」を開催しています。



スローフードへの取り組みと 北海道の「味の箱舟」



「味の箱舟」とは、世界100ヶ国以上で活動しているNPOスローフード協会のプロジェクトで、「現代の大量生産や流通によって消滅の危機にある地域固有の品種・食品」を救済する活動です。

北海道では、日本短角牛、札幌黄たまねぎ、まさかりカボチャ、八列とうもろこしが認定されています。当社では、地域の貴重な食材に関心をもってもらい「食」の原点を振り返ってほしいという願いのもと、良心的な生産者を少しでも支援するため、秋の収穫時にこれらの食品・食材の販売を行っています。

上質への取り組みと 「十勝正直村」の商品

上質スーパーマーケットへの取り組みにおいて、“健康と安全”の思いを込めた「ナチュラルラッキー」のコンセプト商品として、当社が自信をもってお勧めしているのが、“大地の恵みと造る人の心”をお届けする「十勝正直村」の食品です。



「十勝正直村」の食品に 込められた想い

- ・北海道のとりわけ十勝にこだわって造られた食品
- ・合成添加物を使わない安心・安全な食品
- ・職人の技で造られた、手作りの顔がわかる食品



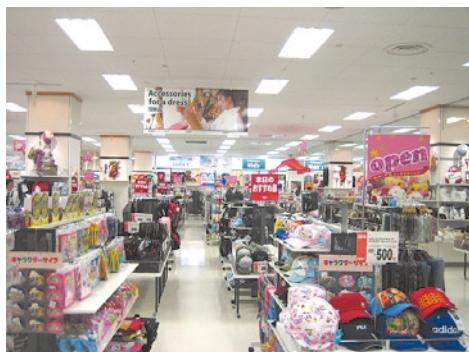
長都店

2009年6月19日に千歳市勇舞のショッピングセンター「ちとせモール」に総合衣料のテナントとしてLUCKY長都店が、新規開店いたしました。

テナントモールへの出店は大曲店について2店目となり、恵庭を含めた広範囲からのお客様の期待にお応えするため、約300坪の明るく見やすい洗練された売場を構築いたしました。また、新しい試みとして小物、雑貨、おもちゃ関係をふんだんに盛り込んで、お年寄りからファミリー層まで幅広いお客様に喜んでいただけるお店づくりを目指しています。

〈店舗概要〉

所在地	北海道千歳市勇舞8丁目1-1 ちとせモール内
立地	千歳市の中心街より車で10分
売場面積	275坪
従業員数	社員1名 パートタイマー6名(1日8時間換算)
オープン日	平成21年6月19日



おもちゃや雑貨などの商品構成を加え、見て選んで楽しい売り場を演出。



「グリーン」と「ホワイト」のコントラストで、「清潔感」や「上質感」をイメージ。

北雄ラッキーの環境方針

北雄ラッキーは「今も未来も地域のお客様と共にあり続けたい」という願いのもとに、地球温暖化防止(二酸化炭素の削減)をはじめとする環境問題に積極的に取り組み、従業員一人ひとりが身近に出来ることから、着実に実践し積み重ねることで、地域のスーパーマーケットとして、地球にやさしい環境づくりに貢献してまいります。

未来が変わる。日本が変わる。

チャレンジ
25

私たちは地球温暖化防止国民運動、チャレンジ25キャンペーンに参加して、温室効果ガス排出量の25%削減を目標に行動しています。



資源化ゴミ(紙くず、軽プラスチック、ラップなど)は、分別回収して圧縮機にかけて固形燃料用にリサイクルしています。



飲料水のケースには、要冷-非冷の切替スイッチを取り付け閉店後は非冷に切り替えて、夜間電力を削減しています。



4月22日の地球の日を「アースデー」と題して、店舗周辺及び道路などのゴミ拾い活動に取り組んでいます。

当期の概況

●営業の状況

当連結会計年度におけるわが国経済は、国際的な金融市場の混乱を背景に、上半期は企業業績や雇用情勢の悪化により輸出や設備投資が減少傾向となり、個人消費につきましても回復基調が見られず、景気は持ち直しの兆しのない状態が続きました。下半期に入りましてからは、好調なアジア経済に牽引された輸出や生産に回復傾向が見られましたが、円高やデフレによる企業収益の圧迫も加わり、リーマン・ショック以降企業の経営環境は依然として厳しい状況で推移いたしました。

北海道の景気判断につきましては、全国的傾向と同様に設備投資や雇用環境の厳しさが続くなか、一部の生産には持ち直しの動きがあるほか、アジアを中心に外国人観光客の入り込みがあるなど明るさが見られる部分もありますが、個人消費についてはまだ回復傾向に乏しく、全体としては厳しい状況が続いております。

流通を取り巻く環境につきましては、急激な雇用及び所得環境の悪化、景気動向を背景に消費者の生活防衛意識の高まりによる消費の低迷や企業間競争の加速、さらには少子・高齢化などに伴う販売数量の減少、販売単価の下落など依然として厳しい経営環境が続いております。

当社グループ「スーパーマーケット事業部門」では、長引く消費不振や競合店対策に対処し、お客様の一層の節約志向や購買基準の変化などに対応するため、低価格の打出しやポイントサービスの強化、買上点数や客単価の向上を図るための年間52週重点販売商品

の販売強化により、売上高の確保に努めてまいりました。一方では、仕入コストの削減、在庫状況の改善、ロス対策の強化などに取り組むことで荒利益率の確保にも努めてまいりました。

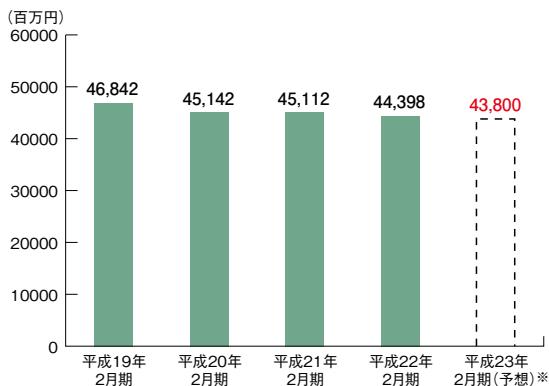
管理面におきましては、競合店対策などにより広告宣伝費や販売手数料等の販売費が増加となりましたが、作業の改善による人件費の減少、電気・ガス料金を中心とする水道光熱費の精査見直しを実施するなど、経費の削減に努めた結果、販売費及び一般管理費トータルといたしましては前年同期間比では幾分の減少となりました。

店舗につきましては、平成21年6月に千歳市勇舞に衣料品店である長都店を新規に開店いたしました。また同年4月には、千歳錦町店及び北24条店を改装しております。

「その他の事業部門」につきましては、エル食品(株)TSUTAYA篠路店では競合が一段と厳しさを増し、レンタル事業においては競合他社との値引き競争が激化いたしました。また、(株)アップルにつきましても所得低迷の影響を大きく受けて、新規保険契約が伸び悩むなど、いずれも厳しい結果となりました。

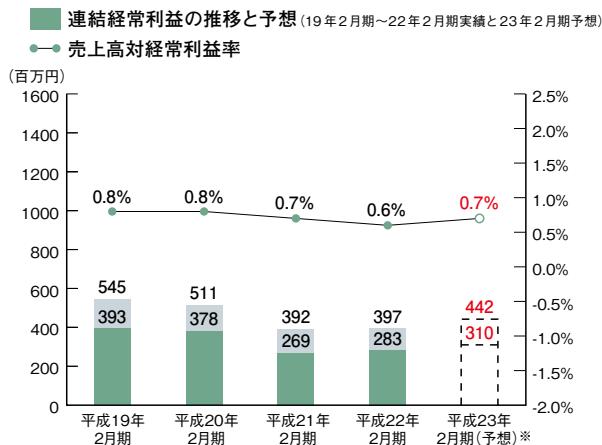
両事業部門を合わせまして、当連結会計年度の売上高は44,398百万円(前連結会計年度比98.4%)、営業利益は397百万円(前連結会計年度比101.4%)、経常利益は283百万円(前連結会計年度比105.2%)、当期純利益は99百万円(前連結会計年度比234百万円の減少)となりました。

■ 連結売上高の推移と予想 (19年2月期～22年2月期実績と23年2月期予想)



*平成23年2月期の連結業績予想につきましては、平成23年2月期の事業年度期首より、従来の連結子会社が連結範囲から除外されるため、非連結としての業績予想を記載しております。

■ 連結営業利益の推移と予想 (19年2月期～22年2月期実績と23年2月期予想)



●次期の見通し

今後の見通しにつきましては、海外経済の緩やかな回復傾向や各国の景気浮揚策を背景に、国内経済の持ち直しや個人消費の回復が期待されるものの、雇用情勢の悪化や景気の下振れ懸念、デフレや金融市場の変動によっては景気が一段と冷え込むことも懸念され、翌事業年度においても大変厳しい経営環境であると思われま

す。こうした状況のなか、当社におきましては引き続き販売力の強化による確固たる競争力の構築を最大の経営課題として捉えております。これらの課題の解決に向け、販売政策の面では、食生活提案型売場の構築を図ることと、商品の「品質」と「鮮度」の良質化を徹底させ、上質価値感を構築することにより、他企業との差別化実現に努めてまいります。

商品政策の面では、商品コンセプトの柱となる「ナチュラルラッキー」「テイスティラッキー」のテーマである「健康と安全」「味とおしさ」の再構築及び地産・地消の強化に取り組んでまいります。また、加速度的に進む少子・高齢化に対応する品揃えの維持、または時代背景とともに刻々と変化する消費スタイルにも柔軟に対応してまいります。

店舗運営の面では、店舗としてのより良い姿を再考し企業のビジネスモデル(店舗のフォーマット作り)の確立に取り組んでまいります。また、労務管理に関しましては、ローコスト経営の徹底を図り、作業時間の平準化及び時間帯投下人数の標準化等により、更なる生産性の向上に努めてまいります。

設備投資につきましては、新規開店の予定はありませんが3月には篠路店を、4月下旬には栗山店の改装を計画通りに完了させております。また、4月中旬にはこれまでテナントとして入店しておりました星置駅前店の土地・建物を取得し、自社物件といたしました。その他の改装・改修につきましては堅実な範囲で実施してまいります。

管理面におきましては、コンプライアンス意識の徹底やリスク管理システムの精度向上を図り、今以上に財務報告が適正かつ迅速に作成されるように努めてまいります。

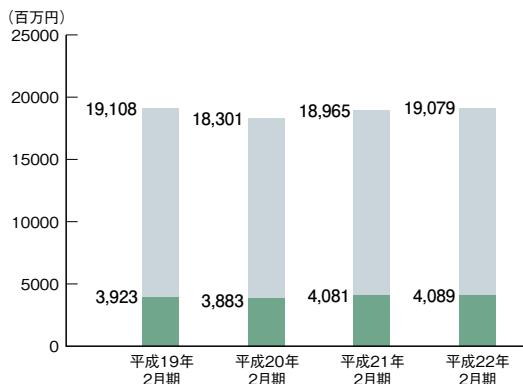
環境問題におきまして、当社は「今も未来も地域のお客様と共にあり続けたい」という願いのもとに、地域のスーパーマーケットとして地球や人にやさしい環境づくりに貢献する企業を目指してまいります。

当社はこうした課題を着実に実施していくことにより、厳しい経営環境にあるなか、競争力のある企業の構築に向けて取り組んでまいり所存であります。

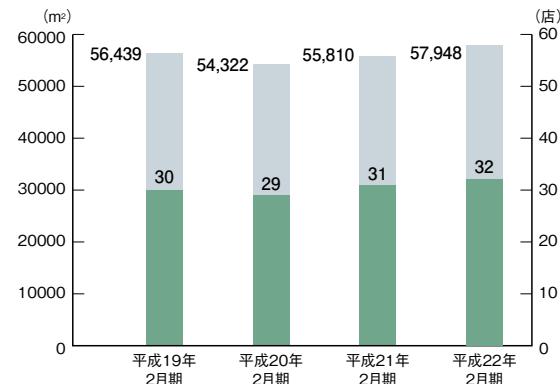
株主の皆様におかれましては、引き続き変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

次期の業績見通しにつきましては、売上高は43,800百万円(前連結会計年度比98.7%)、営業利益は442百万円(前連結会計年度比111.3%)、経常利益は310百万円(前連結会計年度比109.5%)、当期純利益につきましては250百万円(前連結会計年度比250.2%)と見込んでおります。

■ 連結総資産の推移 (19年2月期～22年2月期実績 4期分)
■ 連結純資産の推移 (19年2月期～22年2月期実績 4期分)



■ 期中平均売場面積の推移
■ 期末店舗数の推移



財務諸表(連結)

●連結貸借対照表

単位:千円

科目	前期	当期
	平成21年2月28日 現在	平成22年2月28日 現在
〈資産の部〉		
流動資産	4,432,363	4,414,098
現金及び預金	1,808,455	1,923,423
受取手形及び売掛金	252,073	293,747
商品及び製品	1,766,688	1,590,424
原材料及び貯蔵品	32,021	34,084
繰延税金資産	87,703	73,088
その他	485,934	499,930
貸倒引当金	△514	△600
固定資産	14,533,433	14,655,916
有形固定資産	11,243,140	11,434,598
建物及び構築物	3,928,490	3,694,828
車両運搬具	525	329
土地	7,242,452	7,236,322
リース資産	—	446,593
建設仮勘定	6,891	10,098
その他	64,780	46,425
無形固定資産	24,103	22,080
投資その他の資産	3,266,189	3,199,238
投資有価証券	165,369	197,122
繰延税金資産	476,107	448,632
差入保証金	2,458,110	2,395,308
その他	166,601	158,175
繰延資産	—	9,862
社債発行費	—	9,862
資産合計	18,965,796	19,079,877

単位:千円

科目	前期	当期
	平成21年2月28日 現在	平成22年2月28日 現在
〈負債の部〉		
流動負債	10,016,020	9,817,486
支払手形及び買掛金	3,406,110	3,210,210
1年以内償還予定の社債	—	600,000
短期借入金	4,719,800	3,758,710
1年以内返済予定の長期借入金	701,412	899,313
リース債務	—	171,936
未払法人税等	106,387	71,707
賞与引当金	139,278	112,619
その他	943,032	992,989
固定負債	4,867,782	5,172,792
社債	600,000	500,000
長期借入金	2,762,199	2,920,386
リース債務	—	280,151
退職給付引当金	785,362	819,080
役員退職慰労引当金	293,560	263,624
その他	426,661	389,550
負債合計	14,883,803	14,990,278
〈純資産の部〉		
資本金	641,808	641,808
資本剰余金	465,258	465,258
利益剰余金	2,997,901	3,031,391
自己株式	△1,043	△51,143
株主資本合計	4,103,924	4,087,315
その他有価証券評価差額金	△21,931	2,283
純資産合計	4,081,992	4,089,599
負債純資産合計	18,965,796	19,079,877

●連結損益計算書

単位:千円

科目	前期	当期
	平成20年3月 1日～ 平成21年2月28日	平成21年3月 1日～ 平成22年2月28日
売上高	45,112,155	44,398,628
売上原価	33,901,583	33,496,192
売上総利益	11,210,571	10,902,436
営業収入	1,099,608	1,072,098
営業総利益	12,310,179	11,974,535
販売費及び一般管理費	11,918,066	11,576,909
営業利益	392,112	397,626
営業外収益	80,253	81,352
営業外費用	203,179	195,822
経常利益	269,186	283,156
特別利益	289,247	4,220
特別損失	73,851	19,615
税金等調整前当期純利益	484,582	267,761
法人税、住民税及び事業税	153,571	129,385
過年度法人税等	—	7,898
法人税等調整額	△3,792	30,554
当期純利益	334,803	99,922

●連結キャッシュ・フロー計算書

単位:千円

科目	前期	当期
	平成20年3月 1日～ 平成21年2月28日	平成21年3月 1日～ 平成22年2月28日
営業活動によるキャッシュ・フロー	986,669	561,661
投資活動によるキャッシュ・フロー	△548,968	73,227
財務活動によるキャッシュ・フロー	△288,300	△439,992
現金及び現金同等物の増減額(減少:△)	149,400	194,896
現金及び現金同等物の期首残高	729,055	878,455
現金及び現金同等物の期末残高	878,455	1,073,351

●連結株主資本等変動計算書

当連結会計年度(平成21年3月1日～平成22年2月28日)

単位:千円

	株主資本					評価・換算差額等		純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券 評価差額金	評価・換算 差額等合計	
平成21年2月28日残高	641,808	465,258	2,997,901	△1,043	4,103,924	△21,931	△21,931	4,081,992
連結会計年度中の変動額								
剰余金の配当			△66,432		△66,432			△66,432
当期純利益			99,922		99,922			99,922
自己株式の取得				△50,100	△50,100			△50,100
株主資本以外の項目の 連結会計年度中の変動額(純額)						24,215	24,215	24,215
連結会計年度中の変動額合計	—	—	33,490	△50,100	△16,609	24,215	24,215	7,606
平成22年2月28日残高	641,808	465,258	3,031,391	△51,143	4,087,315	2,283	2,283	4,089,599

財務諸表(個別)

●個別貸借対照表

単位:千円

科目	前期	当期
	平成21年2月28日 現在	平成22年2月28日 現在
〈資産の部〉		
流動資産	4,229,242	4,244,253
現金及び預金	1,677,538	1,815,479
受取手形	136	—
売掛金	250,606	292,516
商品及び製品	1,698,587	1,533,589
原材料及び貯蔵品	31,977	34,008
前払費用	125,241	119,151
繰延税金資産	86,293	73,088
未収入金	352,869	371,818
その他	6,511	5,201
貸倒引当金	△520	△600
固定資産	14,509,685	14,639,120
有形固定資産	11,243,140	11,435,048
建物	3,708,275	3,504,845
構築物	220,215	189,982
車両運搬具	525	329
工具、器具及び備品	64,780	46,875
土地	7,242,452	7,236,322
リース資産	—	446,593
建設仮勘定	6,891	10,098
無形固定資産	23,775	21,752
ソフトウェア	5,874	3,851
電話加入権	17,900	17,900
投資その他の資産	3,242,769	3,182,320
投資有価証券	165,369	197,122
繰延税金資産	475,726	448,632
差入保証金	2,415,084	2,358,402
その他	186,588	178,162
繰延資産	—	9,862
社債発行費	—	9,862
資産合計	18,738,928	18,893,236

単位:千円

科目	前期	当期
	平成21年2月28日 現在	平成22年2月28日 現在
〈負債の部〉		
流動負債	9,974,304	9,787,558
買掛金	3,393,719	3,190,608
1年以内償還予定の社債	—	600,000
短期借入金	4,719,800	3,758,710
1年以内返済予定の長期借入金	701,412	899,313
リース債務	—	170,096
未払金	543,146	576,679
未払費用	211,409	198,543
未払法人税等	92,769	71,608
未払消費税等	45,294	78,898
前受金	18,023	17,853
預り金	110,456	113,287
賞与引当金	138,272	111,960
固定負債	4,854,804	5,168,306
社債	600,000	500,000
長期借入金	2,762,199	2,920,386
リース債務	—	278,410
退職給付引当金	783,510	816,335
役員退職慰労引当金	288,340	263,624
長期預り保証金	416,561	389,326
その他	4,193	223
負債合計	14,829,109	14,955,865
〈純資産の部〉		
資本金	641,808	641,808
資本剰余金	465,258	465,258
利益剰余金	2,825,727	2,879,163
自己株式	△1,043	△51,143
株主資本合計	3,931,750	3,935,086
その他有価証券評価差額金	△21,931	2,283
純資産合計	3,909,818	3,937,370
負債純資産合計	18,738,928	18,893,236

●個別損益計算書

単位:千円

科目	前期	当期
	平成20年3月1日～平成21年2月28日	平成21年3月1日～平成22年2月28日
売上高	44,781,651	44,085,595
売上原価	33,846,091	33,367,831
売上総利益	10,935,560	10,717,763
営業収入	1,112,260	1,075,830
営業総利益	12,047,820	11,793,593
販売費及び一般管理費	11,664,727	11,384,764
営業利益	383,092	408,829
営業外収益	76,732	88,340
営業外費用	203,170	195,809
経常利益	256,654	301,359
特別利益	265,572	4,000
特別損失	52,634	19,615
税引前当期純利益	469,593	285,744
法人税、住民税及び事業税	137,712	129,214
過年度法人税等	—	7,898
法人税等調整額	△7,500	28,762
当期純利益	339,381	119,868

●剰余金処分

期末配当に関する事項

(1)配当財産の種類

金銭といたします。

(2)配当財産の割当に関する事項及びその総額

普通株式 1株につき金8円

配当総額 51,945,608円

(3)剰余金の配当が効力を生じる日

平成22年5月26日

(参考)

1. 当期における配当性向 44.1%

2. 1株当たり配当金の推移(期末時)

17年度	18年度	19年度	20年度	21年度
5.0円	10.0円	10.0円	10.0円	8.0円

●株主資本等変動計算書

当事業年度(平成21年3月1日～平成22年2月28日)

単位:千円

	株主資本									評価・換算差額等		純資産合計
	資本金	資本剰余金			利益剰余金			自己株式	株主資本合計	其他有価証券評価差額金	評価・換算差額等合計	
		資本準備金	其他資本剰余金	資本剰余金合計	其他利益剰余金	利益剰余金合計	繰越利益剰余金					
平成21年2月28日残高	641,808	161,000	304,258	465,258	2,465,000	360,727	2,825,727	△1,043	3,931,750	△21,931	△21,931	3,909,818
事業年度中の変動額												
剰余金の配当						△66,432	△66,432		△66,432			△66,432
当期純利益						119,868	119,868		119,868			119,868
自己株式の取得								△50,100	△50,100			△50,100
株主資本以外の項目の事業年度中の変動額(純額)										24,215	24,215	24,215
事業年度中の変動額合計	—	—	—	—	—	53,436	53,436	△50,100	3,336	24,215	24,215	27,552
平成22年2月28日残高	641,808	161,000	304,258	465,258	2,465,000	414,163	2,879,163	△51,143	3,935,086	2,283	2,283	3,937,370

会社概要

設立 1982(昭和57)年5月10日
本社 〒060-0011
札幌市中央区北11条西19丁目36-35
資本金 6億4180万円
代表者 代表取締役社長 川端 敏
従業員数 正社員 545名
パートタイマー 1,598名
(1人8時間換算 月平均)
平成22年2月末日現在
営業品目 生鮮食料品・加工食品・菓子・衣料品・
日用雑貨・米・酒

役員 代表取締役会長 桐生 泰夫
代表取締役社長 川端 敏
専務取締役 後藤 扶美彰(管理本部長)
常務取締役 桐生 宇優(営業本部長)
取締役 山川 浩文(人事部長)
取締役 千葉 敬一(情報システム部長)
取締役 山本 光治(グロスリー部長)
取締役 堀田 史朗(生鮮部長)
取締役 塗 謙一郎(経理部長)
常勤監査役 野口 晶
監査役 堀 勝彦
監査役 中井 実
監査役 宮脇 憲二

沿革

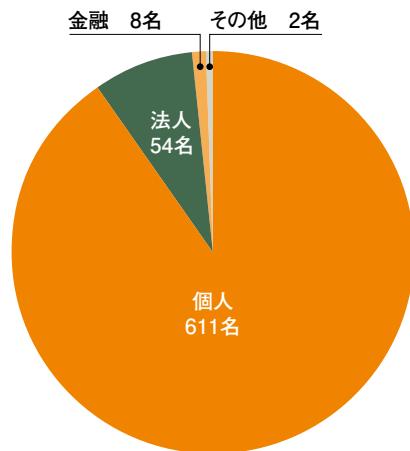
- 昭和46年04月 食品の小売及び卸売を目的として、札幌市手稲西野(現 西区西野)に資本金6,000千円にて、株式会社オレンジチェーンを設立。
48年04月 本社を札幌市西区山の手1条7丁目に移転。
49年05月 商号を株式会社山の手ストアに変更し、本格的にスーパーマーケットのチェーン展開を開始。
同月、山の手店をはじめ、5店舗の営業を開始。
50年10月 札幌市東区に北49条店を開店。
51年10月 札幌市豊平区(現 清田区)に清田店を開店。
52年12月 札幌市北区に篠路店を開店。同時にEOS(補充発注システム)を導入。
57年05月 株式会社まるせんととの合併と同時に、北雄ラッキー株式会社に商号変更。同時に、本社を札幌市中央区大通西23丁目291-1に移転。
58年07月 石狩町(現 石狩市)花川に花川店を開店。
59年06月 本社を札幌市中央区宮の森3条1丁目1-25に移転。
63年07月 小樽市新光町に朝里店を開店。小樽へ進出。
平成元年07月 本社を札幌市中央区北11条西19丁目36-35に移転。
同月、札幌市南区に川沿店を開店。
2年03月 POS(販売時点情報管理)システムを導入。
3年10月 石狩町(現 石狩市)花川に花川南店を開店。
5年09月 株式会社シティびほろと合併し、シティびほろ店を開店。道東地区へ進出。
6年03月 千歳市錦町に千歳錦町店を開店。千歳市へ進出。
6年04月 紋別郡遠軽町にシティえんがる店を開店。道東地区2店舗となる。
6年11月 子会社、エル食品株式会社を設立し、食品加工卸売業を開始する。
7年02月 保険部門を独立させ、子会社、株式会社アップルを設立。
7年05月 札幌市豊平区(現 清田区)に美しが丘店を開店。
8年03月 本格的にインスタペーパーカーを手がけ、以後各店へ導入。
9年03月 山の手店を増床のうえ大幅改装し、新たなプロトタイプの店舗づくりに着手。
10年03月 夕張郡栗山町に栗山店を開店。
12年03月 網走市駒場にシティあばしり店を開店。道東地区3店舗となる。同月、食品の安全性検査のため独自の商品検査室を設置。
13年03月 札幌市北区に新琴似四番通店を開店。
14年03月 中川郡幕別町に札内店を開店。
同月、安全衛生管理室を設置。
14年04月 札幌市手稲区に星置駅前店を開店。
14年10月 日本証券業協会に株式を店頭登録。(現大阪証券取引所)
15年04月 夕張郡長沼町に長沼店を開店。
16年05月 精肉・鮮魚商品を店舗へ供給する生鮮センターを稼動。
16年06月 紋別市渚滑にシティもんべつ店を開店。
道東地区4店舗となる。
17年10月 稚内市新光町にシティ稚内店を開店。道北地区へ進出。
18年03月 札幌市中央区に低温物流センターを取得。
19年07月 小樽市手宮に手宮店を開店。
20年06月 北広島市に大曲店を開店。
20年09月 岩内郡岩内町に岩内店を開店。
21年06月 千歳市勇舞に長都店を開店。
22年03月 子会社であるエル食品株式会社及び株式会社アップルの両社を、当社を存続会社として吸収合併する。

株式の状況 (平成22年2月28日現在) JASDAQ:2747

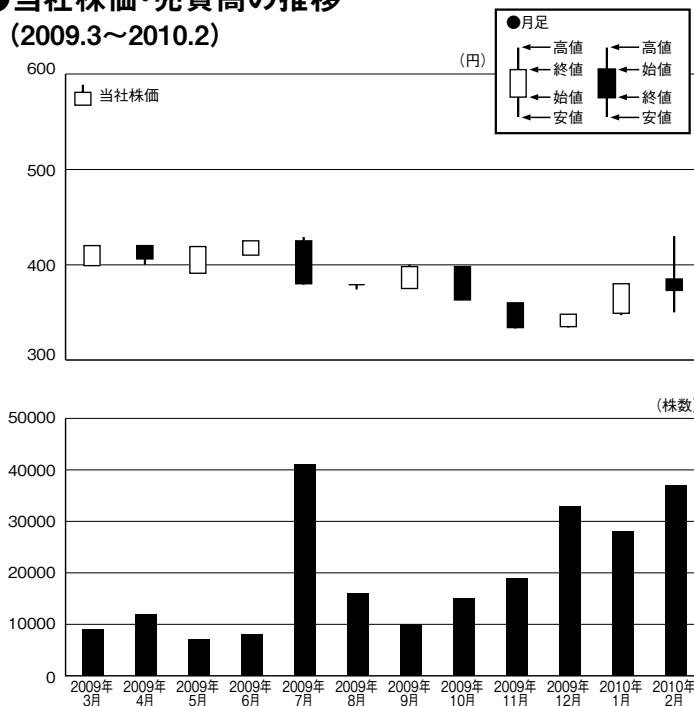
発行済株式の総数 **6,645,770株**

期末株主総数 **675名** (前期比 75名増)

●所有者別株主数



●当社株価・売買高の推移 (2009.3~2010.2)



●大株主の状況

株主名	当社への出資状況	
	持株数(株)	出資比率(%)
桐生泰夫	1,258,000	18.93
田中嘉久	385,000	5.79
千葉敬一	350,000	5.27
株式会社北洋銀行	320,000	4.82
堀勝彦	240,000	3.61
有限会社まるせん商事	195,000	2.93
久保基彦	187,000	2.81
北雄ラッキー社員持株会	170,000	2.56
千葉サカエ	160,000	2.41
千葉幹治	156,000	2.35

株主メモ

決算期日	2月末日
株主総会	毎年5月
基準日	2月末日 そのほか臨時に必要な場合には、あらかじめ公告いたします。
配当金受領株主確定日	剰余金の配当2月末日 中間配当を行う場合は8月31日
1単元の株式の数	1,000株
株主名簿管理人	東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社
同事務取扱場所	東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部
公告掲載方法	電子公告により行います。
株主優待制度	株主優待制度として、毎年2月末日現在の1,000株以上を保有する株主に対し、年1回三菱UFJニコスギフトカード(5,000円分)もしくは「北海道特産品」を贈呈いたします。

LUCKY

2010.2 第40期 報告書

■株券電子化に伴い、お問い合わせ方法が変わりました。

	●証券会社に口座をお持ちの場合	●特別口座の場合
郵便物送付先	お取引きの証券会社になります。	〒168-8507 東京都杉並区和泉2-8-4
電話お問い合わせ先		☎0120-288-324
お取扱店		みずほ信託銀行株式会社 本店および全国各支店 みずほインベスターズ証券株式会社 本店および全国各支店
ご注意	未払配当金の支払、支払明細発行については、右の「特別口座の場合」の郵便物送付先・電話お問い合わせ先・お取扱店をご利用ください。	単元未満の買取・買増以外の株式売買は出来ません。

本報告書で記述されている当社の現在の計画、戦略、業績予想並びに将来予測などは、発表時点で入手可能な情報に基づき当社が判断した見通しであり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。そのため、経済情勢・市況環境等の様々な要因の変化により、実際の事業内容や業績は、これらの見通しとは大きく異なる結果となる可能性があることをご承知おきください。従いまして、当社の業績や企業価値等をご検討される際に、これら見通しのみを全面的に依拠することは避けていただきますようお願い致します。

また、本報告書に記述するいかなる情報も、当社の株式等の購入や売却を勧誘したり、これらに対する投資をアドバイスする目的で作成されたものではありません。投資に関する決定は、利用者ご自身のご判断において行われるようお願い致します。